

事業所における自己評価の集計結果

事業所名：大田区立障がい者総合サポートセンター 放課後等デイサービス

公開日：令和7年2月21日

| チェック項目   |    | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点                                 |
|----------|----|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備  | 1  | 4  | 1   | ・ゆっくり過ごしたい児童、体を動かしたい児童などニーズは多岐に渡るため、隣の作業療法室が空いている時は、活用している。 | ・支援室とスタッフルームが分離されていない。                    |
|          | 2  | 5  | 0   |   | ・定数は満たしているが、複数の子どもが不安定になった時は、足りないと感じる。    |
|          | 3  | 4  | 1   | ・スケジュールを視覚的に捉えられるようホワイトボードを活用している。                          | ・支援室内に洗面所がない、開閉自在な扉があるなど使いにくい箇所があり改良している。 |
|          | 4  | 5  | 0   | ・室温や換気は外気温や活動内容に合わせて、職員がこまめに調節している。                         |   |
|          | 5  | 4  | 1   |   | ・子どもが不安定な状況になった時にクールダウンするための場所がない。        |
| 業務改善     | 6  | 5  | 0   |   | ・振り返りはできているが、改善行動に結びつけるのが難しい。             |
|          | 7  | 5  | 0   |   |   |
|          | 8  | 5  | 0   |   |   |
|          | 9  | 5  | 0   |   |   |
|          | 10 | 5  | 0   |   | ・外部研修が少ないため、関連する分野の外部研修への参加を検討していく。       |
| 適切な支援の提供 | 11 | 5  | 0   |   |   |
|          | 12 | 5  | 0   |   |   |
|          | 13 | 5  | 0   | ・毎日の振り返りでは、個別支援計画の各目標を意識した意見交換をしている。                        |   |
|          | 14 | 5  | 0   |   |   |
|          | 15 | 5  | 0   |   | ・標準化されたツールの導入を検討している。                     |
|          | 16 | 5  | 0   |   | ・支援内容がより個別化、具体化されるよう意識している。               |
|          | 17 | 5  | 0   |   |   |
|          | 18 | 5  | 0   | ・季節感や真新しさ、手作り感などを意識してプログラムに変化をもたせている。                       |   |
|          | 19 | 5  | 0   | ・来所が楽しみとなるような活動にすべく努力している。個別活動、集団活動の双方で支援できるよう準備している。       |   |
|          | 20 | 5  | 0   | ・毎日打合せを実施し、プログラム内容を全職員が把握し、役割分担した上で支援している。                  |   |
|          | 21 | 5  | 0   | ・毎日振り返りを実施し、出来事を時系列で振り返るようにしている。                            |   |
|          | 22 | 5  | 0   |   |   |

|              |    |  |   |   |   |   |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 5 | 0 |   |   |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。                                | 5 | 0 | ・4つの基本活動をバランスよく組み合わせ、プログラムを計画している。                                  |   |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                         | 5 | 0 | ・選択制の活動を多く取り入れ、こどもが自己決定する力を常に意識している。                                |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 5 | 0 | ・同じ建物内に相談支援事業所があるため、情報共有はその都度実施している。                                |   |
|              | 27 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 5 | 0 |   |   |
|              | 28 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。      | 5 | 0 | ・こどもと保護者の同意を得た上で、学校訪問、担当教諭との情報交換を行っている。                             |   |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。                      | 3 | 2 | ・必要があれば、いつでも情報共有できる体制にしている。   |   |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 5 | 0 | ・1年の利用期間が終了し別事業所へ移行する場合は、必要に応じて支援内容を情報提供している。                       |   |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                       | 5 | 0 |   |   |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       | 4 | 1 | ・放課後児童クラブへの送迎時に、職員と情報共有する機会がある。<br>・地域の公園や商店に出かけて活動する機会を設けている。      |   |
|              | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。  | 5 | 0 | ・大田区児童発達支援地域ネットワーク会議に参画している。  |   |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。                            | 5 | 0 | ・連絡帳や送迎時の会話で状況を伝えている。不足する場合は、電話でも伝えている。                             |   |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                                 | 5 | 0 | ・さぼーとびあ主催の講演会を情報提供をしている。ケースに応じて、ペアレントトレーニングの案内もしている。                |   |
| 保護者への説明等     | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 | 0 |   |   |
|              | 37 | 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | ・契約時の面談、送迎時の伝達、電話での相談などを通じて保護者の意向を確認している。こどもの意向は、療育場面の中で聞く機会を設けている。 |   |
|              | 38 | 個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。                                 | 5 | 0 |   |   |
|              | 39 | 家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                 | 5 | 0 | ・安心して通所していただけるよう、保護者からの相談には最大限の支援を心がけている。                           |   |
|              | 40 | 保護者会を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。                                    | 5 | 0 | ・年2回確実に実施するようにしている。後半は意見交換を行い、交流を設けている。                             |   |
|              | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。         | 5 | 0 |   |   |
|              | 42 | 定期的に通信等を発行することやホームページを活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。       | 4 | 1 |   | ・ホームページのさらなる活用をめざし、写真などで療育場面の様子がわかるようにしていく。 |
|              | 43 | 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。   | 5 | 0 | ・個人情報、施錠管理を徹底している。<br>・「個人情報の保護に関する規則」を制定し、年1回動画視聴による研修を実施している。     |   |
|              | 44 | 障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                       | 5 | 0 | ・従来のアナログ的な物に加えて、デジタル的な手段も取り入れている。                                   |   |

|         |   |   |   |                   |  |                                    |
|---------|---|---|---|-------------------|--|------------------------------------|
|         | 45  | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。   | 5 | 0                 | ・秋のスペシャルデーでは、利用児童だけでなく地域の子どもにも楽しんでもらえるよう工夫している。  |                                    |
| 非常時等の対応 | 46  | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 1                 | ・さぼーとびあの防災訓練に参加して、実際に5階から1階まで避難している。   | ・各マニュアルの保護者への周知が不十分であるため、契約時に実施する。 |
|         | 47  | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                       | 5 | 0                 | ・BCP委員会を設立して、見直し、備蓄品のローリングストック、訓練を実施している。  |                                    |
|         | 48  | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 5 | 0                 | ・利用開始前の聞き取りで配慮事項を確認している。配慮が必要な場合は、ファイルの印をつけるなどの方法で周知している。                                    |                                    |
|         | 49  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。  | 5 | 0                 | ・利用開始前の聞き取りで配慮事項を確認している。配慮が必要な場合は、ファイルの印をつけるなどの方法で周知している。調理活動や季節行事で食品を扱う場合は、その都度保護者に再確認している。 |                                    |
|         | 50  | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 5 | 0                 |  |                                    |
|         | 51  | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。                     | 5 | 0                 |  |                                    |
|         | 52  | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 5 | 0                 | ・安全対策係が毎月集約し、全体会議で改善策を周知している。  |                                    |
|         | 53  | 虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 | 0                 | ・東京都主催の研修を毎年受講している。研修生による伝達講習を悉皆研修とし、実際に起こりそうな事例を想定した研修を行っている。                               |                                    |
| 54      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了承を得た上で、個別支援計画に記載しているか。 | 5   | 0 | ・契約時に説明して同意を得ている。 |  |                                    |